

広瀬 寛人

(無所属)

富良野市財政健全化計画と
富良野市総合計画の兼ね合いは

問 財政規律の確立意義は。

答 富良野市財政健全化計画の進捗状況などについて、出来るだけわかりやすい公表に努め、財政規律の確保に努める。

問 新たな総合計画と財政フレームは。

答 引き続き厳しい財政状況が想定される中での財政フレームによる計画策定手法については、今後の検討課題とする。

問 「情報共有と市民参加のルール条例」の活用具体策は。

答 市広報誌やホームページへの掲載、地域懇談会での説明、意見交換、ラジオふうらでの放送説明などを行うと共に、出前講座も随時受け付け積極的に情報提供の機会の充実に努める。

民間活力の活用は

問 現在想定しているメニューは。



洞爺湖サミットテロ警戒

答 保育所の運営、学校の現業業務や公共施設の運営・管理など検討しており、併せて先進事例等を参考にしながら取り組み。

問 民間委託を検討する仕組み作りは。

答 行革推進委員会やパブリックコメントなどにより、広く市民の意見を求め民間委託等の方向性など検討し効率的・効果的な行政運営を図る。

洞爺湖サミットの体制造りは

問 例年と変わる治安体制は。

答 富良野警察署管内の5市町村および防犯団体や、交通安全に係わる団体等で構成する「北海道洞爺湖サミット富良野警察署支援委員会」を発足し治安体制の強化を図る。

用語解説

代表質問

政党・会派を代表して、市政執行方針、教育行政執行方針に対し行うものであり、質問は原則1回。

一般質問

市が進める事務全般について、市長をはじめとする執行機関に対し、どう考えているかを質問すること。

一問一答

質問項目をひとつずつ取り上げ、納得いくまで質疑、答弁を繰り返す方法。以前は、質問項目全部を述べ、答弁を求める一括質疑方式(質疑は3回まで)を採用していた。

条例

法律に基づき、地方公共団体の固有事務、団体事務、行政事務を定めたもの(義務を課す、権利を制限するときには条例が必要となる。)

当初予算

年度開始前に年間予算として編成し成立した予算。

補正予算

既定の予算に追加や変更を加える必要が生じたときに調整する予算。

財政調整基金

経済情勢の変化による大幅な収入の減少や災害などによる急激な支出の増加に備えるための積立金。

専決処分

法律に基づき、市長が議会にかわって事件を処理することをいう(処理した事件を直近の議会において報告)

(1)法律の規定による専決処分

議会を開くことが出来ないとき、緊急を要する場合など。

(2)議会の委任による専決処分

軽易な議決事件に限る。

パブリックコメント

まちづくりを市民と共に考えつくりあげることが目的に制定された「富良野市情報共有と市民参加のルール条例」で規定されている「市民参加手続き」7手法の内の1手法。

地方分権

出来るだけ多くの権限を地方に分散すること。中央集権の反対語として使用されている。

第三セクター

公共団体と民間企業との共同出資で設立される事業体を第三セクターという。略して三セク(さんせく)とも言う。

第一セクター

国および地方公共団体が出資・経営する公企業(上下水道・交通・病院など)のこと。

第二セクター

民間が出資・経営する企業のこと。